

TOYOKAWA

City Promotion Book 2023

豊川市勢要覧



市制施行80周年記念

発刊にあたって



豊川市長 竹本 幸夫

愛知県の南東部に位置する豊川市は、穏やかな気候と豊かな自然、交通アクセスに恵まれた人口約18万5千人のまちです。市内には日本三大稻荷の一つとされる豊川稻荷をはじめ、由緒ある神社仏閣や三河国分寺跡に代表される史跡が数多くあり、歴史と文化に彩られたまちであります。また、スポーツでは多くの選手が全国で活躍し、若者の活力にも満ちています。多くの優良企業が操業する工業や、日本一の出荷量を誇るバラなどの施設園芸を中心に農業も盛んで、産業がバランス良く発展してきました。今春、八幡地区に大型商業施設が開業し、にぎわいと雇用の創出など、今後一層の地域活性化が期待されます。また、開園30周年の赤塚山公園や桜ヶ丘ミュージアムの茶室「心々庵」がリニューアルオープンし、豊川公園の再整備も進んでいるなど、現在、子育てしやすく暮らしやすい環境を整えることに全力を挙げています。

令和5年6月1日、豊川市は市制施行80周年の節目を迎えました。「もっと、ずっと、豊川。」をキヤツチフレーズに、市民の皆さまや関係団体と一緒に「もっと元気なとよかわ」を目指してまちを盛り上げ、将来にわたって住み続けたいと思えるまちづくりを進めてまいります。

80周年の記念誌として発刊したこの市勢要覧では、「とよかわ広報大使」による対談、四季折々の美しい風景や祭礼といったまちの魅力を紹介しています。豊川市のこれまでの歩みを感じていただくとともに、未来に向かう新たな豊川市を応援していただければ幸いです。

令和5年6月

目次

第1章 魅力あふれるまち とよかわ

- ◆ とよかわの四季 2
- ◆ とよかわの祭り 3
- ◆ 産業 11
- ◆ 歴史・文化財 13
- ◆ 史跡・古墳 15
- ◆ にぎわい 17

第2章 光・緑・人 漂くとよかわ

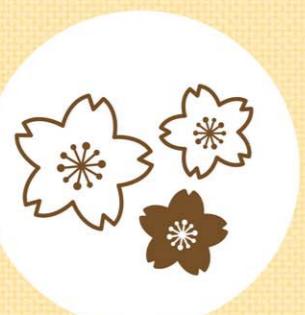
- ◆ 安全安心なまちづくり 20
- ◆ 誰もが住みよいまち 23
- ◆ スポーツで活気のあるまちに 25
- ◆ 人とつながり 未来へつなげる 27

第3章 とよかわのあれこれ

- ◆ 豊川市制施行80周年スペシャルトーク 29
- ◆ とよかわのあゆみ 31
- ◆ とよかわデータ 35
- ◆ とよかわイラストマップ 37



魅力あふれるまち とよかわ





人々は春の到来に心を躍らせます。
花々が咲き誇る春。



1 佐奈川堤の桜と菜の花

両岸約4kmにわたって続く、約650本の桜並木。満開の桜と菜の花と一緒に楽しむことができます。

3 東三河ふるさと公園 展望ツツジ園

東三河ふるさと公園の頂上にある展望ツツジ園。三河湾や豊川市の街並みが一望できます。

2 諏訪の桜トンネル

市役所北側の桜トンネル。ライトアップされた夜桜もまた一興です。

4 豊川稻荷春季大祭

豊年を祈願して行われる大祭。可愛らしい稚児が境内を練り歩きます。





きらめく日差しがまぶしい夏。
伝統ある祭りや雄大な自然で
まちや人々は活気にあふれています。



1 豊川夏まつり

豊川進雄神社で行われる豊川夏まつり。手筒花火と県無形民俗文化財に指定されている綱火が観客を盛り上げます。

2 本宮山と豊川

青々とした本宮山と輝く豊川。豊かな自然に囲まれ多様な生態系が築かれています。

3 三河湾の夕日

御津町から望む三河湾。沈みゆく夕日が海を赤く染めています。

4 牛の滝

古くから三河の名勝の一つとして知られる、東上町にある牛の滝。夏には涼を求めて人々が訪れます。



4 1



2



3



4



木々の葉が色づく秋。
まちも冬に向けて身支度を整えます。

1 宮路山の紅葉

もみじやコアラツツジに彩られる宮路山。天気の良い日には富士山を望むこともでき、登山客たちでにぎわいます。

2 白川堤のコスモス

白川の両岸約300mにわたって咲く色とりどりのコスモス。地元ボランティアによって整備され、訪れた人々の目を楽しませます。

3 赤坂の舞台 伝統芸能公演

伝統芸能保存団体が歌舞伎などを披露するこの舞台。伝統芸能を身近に感じ理解を深めます。

4 豊川稻荷秋季大祭

豊年に感謝して行われる大祭。夜には境内の大小さまざまな提灯に火が灯され、幻想的な雰囲気に包まれます。



2



3



4

1 豊川稻荷の初詣

商売繁盛・家内安全などのご利益があるとされる豊川稻荷。日本三大稻荷の一つとして知られ、全国各地から訪れる多くの参拝客でにぎわいます。

3 三河本ハゼ甘露煮

御津町にある食品工場で行われる、地域の伝統産業・ハゼの甘露煮作り。正月の縁起物とされ、おせち料理の一品として知られています。

2 大和の大イチョウ

豊津町にある樹齢約100年の大イチョウ。例年12月上旬に見頃を迎えます。

4 豊川稻荷の大すす払い

年末の風物詩ともいわれる大掃除・大すす払い。一年間にたまつたすすを落とし、新年を迎える準備を整えます。



新しい年に気持ちも引き締まります。
凛とした空気が張りつめる冬。





とよかわの 祭り 受け継がれる

伝統あるさまざまな祭りが行われる豊川市。
四季折々の祭りは時代を超えて、
現代へと受け継がれています。



1 若葉祭

県の無形民俗文化財に指定されている牛久保八幡社の祭礼。「ヤンヨウガミ」が路上に寝転がるなど、天下の奇祭として知られています。【4月】



2 どんき

長松寺で行われる奇祭。白狐や天狗などに紅ガラを塗られた人は、無病息災が得られるといわれています。【12月】

3 花の撓大祭

為当稻荷神社で行われる、五穀豊穣や商売繁盛、天候の安定を祈願する祭り。狐の提灯行列が練り歩き、幻想的な雰囲気に包まれます。【4月】

4 お田植祭

財賀寺で行われる、五穀豊穣や子孫繁栄を願う祭り。農夫や奉行に扮した男性たちが稻作の所作を演じます。【1月】

5 八幡宮例大祭

五穀豊穣を祈願する弓矢神事などが行われる例大祭。本殿は国の重要文化財にも指定されています。【4月】



6 風祭り

風に対する信仰を寄せた菟足神社の祭礼。平安時代の「今昔物語」にも記載されています。【4月】

7 国府夏まつり

大社神社の祭礼。山車曳きの他、絢爛豪華な衣装を身にまとった歌舞伎行列が披露されます。【7月】



8 犬鹿神社例大祭

五穀豊穣などを祈願する例大祭。400年以上の歴史をもつ流鏑馬騎乗式などが行われます。【5月】

9 弓始祭

抵鹿神社の里宮で行われる神事。真榾で作られた黒木の弓で鬼に見立てた的を射ることで、邪気退散を願います。【1月】

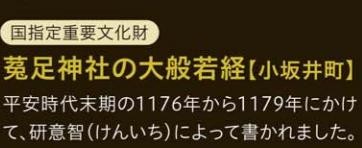
歴史・
文化財

歴史を今に伝える 文化財

豊かな歴史が息づくこのまちには
文化財が多く残されています。



御油 旅人留女



国指定重要文化財
大恩寺の絹本着色
王宮曼茶羅図
【御津町】
中国元時代の図。松平親忠
によって寄進されたと伝え
られています。



1 砥鹿神社里宮【一宮町】

大己貴命(おおなむちのみこと)を祀る神社。
平安時代の初期から三河国一宮として広く信仰を集めています。

国指定重要文化財

2 国分寺銅鐘【八幡町】

平安時代初期に製作されたとされる
高さ137.9cm・口径82.1cmの銅鐘。

国指定重要文化財

3 三明寺三重塔【豊川町】

享禄4年(1531年)に建立され、第一層・第二層が和様、第三層が禅宗様となっています。
文明9年(1477年)の建立とされています。

市指定有形文化財

4 大橋屋(旧旅籠鯉屋)【赤坂町】

文化6年(1809年)の赤坂宿大火以降の建築
と考えられています。改修復元工事を終え、平成31年(2019年)から一般公開されています。

国指定重要文化財

5 八幡宮本殿【八幡町】

三間社流造という構造で、屋根は檜皮葺。
文明9年(1477年)の建立とされています。

豊川海軍工廠
平和公園【穂ノ原】

かつて東洋一の兵器工場とも称された豊川海軍工廠跡地に整備。当時の姿を残す火薬庫や信管置場などの戦争遺跡や海軍工廠の歴史などを紹介する平和交流館があります。



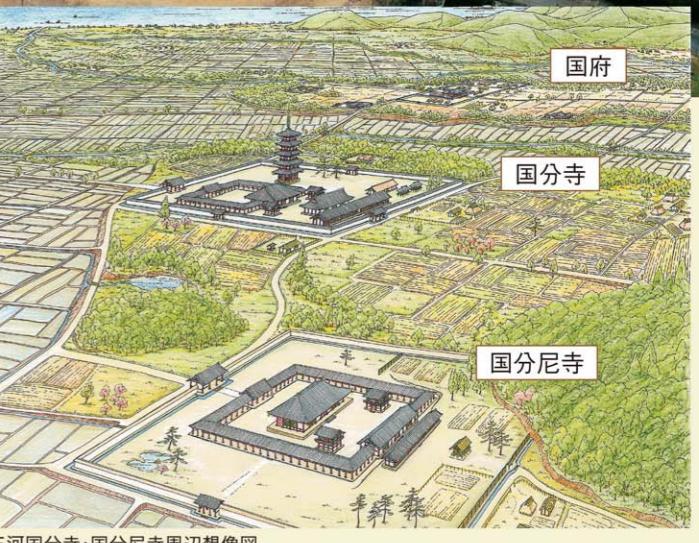
国指定重要文化財

財賀寺の木造金剛力士立像【財賀町】

財賀寺仁王門に安置された県内最大の金剛力士像。全国的にも数少ない平安時代の作といわれています。

史跡・古墳

歴史を語り継ぐ





輝くとよかわ 光・緑・人



スプレーマム

1本の茎から複数の花を咲かせる洋花の菊で、華やかな花の形が特徴。豊川市は、日本で初めてスプレーマムを生産した産地で、トップクラスの出荷量を誇ります。



バラ

豊川市のバラは、出荷量と作付面積が日本一。都市圏を中心に全国の市場へ出荷され、高い評価を得ています。



豊川いなり寿司

豊川稲荷の門前町で古くから販売。平成30年には商標登録され、現在では、昔ながらのいなり寿司の他、創作いなり寿司などの食べ歩きを楽しむことができます。



鮎

豊川市で農業産出額1位の大葉。東三河の生産量は全国シェアの約5割を占め、全国一の産地となっています。



シクラメン

全国トップクラスの出荷額を誇る豊川市のシクラメン。美しさが長持ちする丈夫な花として全国の市場へ出荷されています。



トマトケチャップ

カゴメの家庭用トマトケチャップ製品の全てを市内の工場で生産。家庭用トマトケチャップのシェアは日本一を誇ります。



うずら卵

市内の工場で製造されたうずら卵の水煮缶詰は、全国シェア6割以上。生産量日本一を誇ります。

とよかわの
逸品

安全安心な まちづくり

生命と暮らしを守られ

誰もが安心して過ごすことが
できるまちを目指しています。



医療

市民病院は、高度医療を可能とする最新機器の導入、医師の採用、専門性の高い看護師の育成などにより、安心して医療を受けてもらえる体制を整えています。また、市内の各医療機関と連携し、在宅医療など、一人一人に沿った医療を届けています。地域と連携して健康づくりの講座を開催するなど、多くの方が健康に関心を持つことができるよう、さまざまな活動に取り組んでいます。



交通安全・防犯

小学校通学路への交通指導員の設置や、地域で活動する交通安全指導隊の活動を支援する他 ガードレール、カーブミラー、道路照明灯などの交通安全設備の整備を行っています。また、地域で防犯パトロールや見守り活動を行うボランティア団体の活動、防犯灯、防犯カメラの設置への支援も行っています。さらに、交通安全教室などを開催し、市民の交通安全・防犯への意識向上を図り、安心して住み続けられるまちづくりを目指しています。



消防・救急

さまざまな事故や災害から市民の暮らしを守るため、実践的な訓練などで消防職員の資質向上を図るとともに、市民や企業向けの救命講習などを開催しています。また、約600人の消防団員が地域の防災リーダーとして活躍しています。さらに、消防署や消防団に配備された消防用自動車の更新を計画的に行うことで高度な体制を整え、消防力のさらなる強化を目指しています。



消防や自衛隊など、約千人が参加する総合防災訓練では、人命救助や消火訓練など、さまざまな災害現場を想定した訓練を行います。また、一人一人が防災に対する意識を高めるため、防災訓練の他にも講座を開いたり、自主防災会の支援を行ったりしています。いざという時に助け合える「災害に強いまちづくり」を目指し、より多くの人に防災に関する知識を広めています。



総合防災訓練

誰もが 住みよい まち



保健・福祉

市民が積極的に健康管理を行い、健康で長生きできるよう、生活習慣改善のための保健指導や、ワクチン接種、介護予防教室など、健康づくりに向けた活動を推進しています。



赤塚山公園

令和5年に、開園30周年を迎えた赤塚山公園がリニューアルオープンしました。新たに、「水の広場」にライン噴水やぴょんぴょん噴水、「わくわくパーク」に大型遊具が設置された他、動物と触れ合える「アニ(ニアニ)まる」では小動物の新畜舎ができました。豊川水系の淡水魚を見る「ぎょぎょランド」をはじめ、豊かな自然に囲まれて梅園や花しようぶ園などを散策することもでき、子どもから大人まで楽しめる場となっています。



豊川公園こども広場

豊川市役所に隣接する豊川公園。令和4年にオープンしたこども広場の特徴は、誰もが皆、一緒に遊べる広場であるということです。障害のある子もない子も、それぞれの個性に合わせて遊べる遊具が設置され、ベンチの隣にベビーカー・車いす用スペースがあるなど、あらゆる人に配慮したインクルーシブの概念に基づいて作られた広場となっています。



子育て

「日本一子育てしやすいまち」を目指し、子育て支援に力を入れています。妊婦や子どもの健診に加え、令和4年に設立した産前産後サポートセンターでは、妊娠期から子育て期にわたるサポート体制を整えています。また、プリオビルにある子育て支援センターでは育児に関するさまざまなお相談を受け付けており、隣接するつどいの広場「MAH」は親子で気軽に集うことができ、親同士の交流につながっています。



赤塚山公園

令和5年に、開園30周年を迎えた赤塚山公園がリニューアルオープンしました。新たに、「水の広場」にライン噴水やぴょんぴょん噴水、「わくわくパーク」に大型遊具が設置された他、動物と触れ合える「アニ(ニアニ)まる」では小動物の新畜舎ができました。豊川水系の淡水魚を見る「ぎょぎょランド」をはじめ、豊かな自然に囲まれて梅園や花しようぶ園などを散策することもでき、子どもから大人まで楽しめる場となっています。



豊川公園こども広場

豊川市役所に隣接する豊川公園。令和4年にオープンしたこども広場の特徴は、誰もが皆、一緒に遊べる広場であるということです。障害のある子もない子も、それぞれの個性に合わせて遊べる遊具が設置され、ベンチの隣にベビーカー・車いす用スペースがあるなど、あらゆる人に配慮したインクルーシブの概念に基づいて作られた広場となっています。



子育て

「日本一子育てしやすいまち」を目指し、子育て支援に力を入れています。妊婦や子どもの健診に加え、令和4年に設立した産前産後サポートセンターでは、妊娠期から子育て期にわたるサポート体制を整えています。また、プリオビルにある子育て支援センターでは育児に関するさまざまなお相談を受け付けており、隣接するつどいの広場「MAH」は親子で気軽に集うことができ、親同士の交流につながっています。



バスケットボール交流会

豊川市を含む三遠地域を拠点に活動しているプロバスケットボールクラブの三遠ネオフェニックス。市内の小・中学校を対象としたバスケットボール交流会や教室を行っています。



トップアスリート ふれあい交流事業

トップレベルの競技者や指導者から技術を学ぶことで、子どもたちのスポーツへの関心や技術向上への意欲を高めています。



オーエスジードリームコート豊川 (豊川公園庭球場)【金屋西町】

砂入り人工芝の全天候型テニスコートを12面完備。幅広い世代に親しまれています。



陸上競技場【諏訪】

豊川公園内にある日本陸上競技連盟第3種公認の全天候型競技場。陸上競技やサッカーなどで利用できます。



小坂井B&G海洋センター【篠束町】

一年を通して利用できる温水プールを整備。子どもから大人まで、気軽に水と触れ合える施設です。



市民のスクエア【市田町】

各種イベントやサッカーなどのスポーツに利用できる人工芝の多目的広場。野外ステージや夜間照明が備えられています。

スポーツ

子どもからお年寄りまで、気軽にスポーツを楽しめるよう、庭球場などの施設を整備。また、スポーツ教室や講習会などを開催することで、スポーツに対して意欲を持てるような環境づくりを目指しています。



まちに
活気のある
スポーツで

トヨカワ シティマラソン大会

昭和60年に第1回が開催され、毎回、市内外から幅広い世代が参加。豊川のまちを走るこの大会は、多くのボランティアによって支えられています。



愛知県市町村対抗 駅伝競走大会

愛・地球博記念公園で開催される大会で、豊川市はこれまで行われた大会で毎回入賞。幅広い年齢層の男女混合チームで走り抜きます。



豊川リレーマラソン

チームでタスキをつなぎ、42.195km の完走を目指します。平成23年に第1回が開催され、これまで約3万人が参加。仲間と楽しみながら走るのも魅力の一つです。

これまで、豊川高校や豊川工科高校が何度も全国高等学校駅伝競走大会に出場するなど、「駅伝のまち・とよかわ」として全国に知られるようになりました。豊川リレーマラソンやトヨカワシティマラソン大会には、市内外から多くの方が参加し、豊川市のスポーツを盛り上げています。

駅伝・マラソン

人とつながり
未来へと
つなげる

キュパティーノ市中学生使節団

姉妹都市・米国カリフォルニア州キュパティーノ市や友好都市・中国江蘇省無錫市新吳区を中心に、国際交流活動を推進。昭和53年から始まったキュパティーノ市との交流では、豊川市から延べ600人の中学生がキュパティーノ市を訪問しています。これからも国籍や民族の違いに関わらず、誰もが互いの文化を尊重し合い、活躍で生きるまちを目指します。



◀ワールドフェスティバル
国際交流協会が平成11年から開催しているワールドフェスティバルでは、世界各国のブースを設けて文化やグルメなどの紹介を行っています。

市内で活躍している市民活動団体や協働企業とふれあう事業で、平成30年から行われています。ワークショップや活動内容紹介などを行うことで、団体を感じてもらい、地域でのつながりを深めます。

えがおフェス



御油のマツ並木 植樹作業

国指定天然記念物「御油のマツ並木」の保存・管理を目的に、平成21年から毎年実施。歴史あるマツ並木を後世に引き継ぐため、御油松並木愛護会や小学生などとともに植樹作業を行っています。

豊川海軍工廠平和公園などで、案内や解説をする市民ボランティアが活躍。豊川市には歴史的価値のある文化財が多く残されており、ボランティアによって地域の文化財が後世へ伝えられています。



文化財 ボランティアガイド

とよかわの あれこれ

第3章





対談の様子はどちらから



砥鹿神社での「マリッジカウンセラー」制作発表

小林さん 先ほどの映画の話になるのですが、豊川で自身の主演映画の撮影が行われるということ、地元への恩返しについていますよね。

渡辺さん 恩返しになっているといな

小林さん そうですね。学生時代、部活以外でバスケットボールができる場所をずっと探していく、いつか、子どもたちが自由

渡辺さん 今は豊川から離れて暮らしていますが、映画の撮影で豊川に滞在したときに感じたのは、居心地のよさです。人を和ませる雰囲気のあるまちだと思います。

今後、もっとこういった雰囲気を知っています。豊川のまちを散歩したいなと思います。

とよかわ広報大使として 思うこと

いう土地を見たときに初めて気付くことが多くありました。うちは農家だったこともあり、近所の人と農作物をお裾分けしあうことでも度々あつたし買い物するのにも困らなかつた。豊川に居たときには何もないと思っていたことが、いかに豊かなことだつたか、しみじみ感ります。

渡辺さん そうです。関東出身の妻によく言わるのが、「空が広い」ということ。令和3年10月に「マリッジカウンセラー」という映画の撮影で豊川を訪れた際、朝焼けや星空が本当にきれいで。当たり前だと思っていましたが、実は何でもあつたんですね。

小林さん そうですね。将来、海外でバスケットボールがしたい!という夢を描いていた時期でしたね。大会で結果を残すことはできなかつたのですが、バスケットボールへの思いだけは誰にも負けなかつた。

豊川で過ごした高校時代にあります。コバタクさんはバスケットボール部に所属していました。

小林拓一郎さん
(コバタクさん)



グレープパークコート



Profile

小林拓一郎

牛久保小学校、南部中学校、国府高校を卒業。2004年ZIP-FMミュージックナビゲーターコンテストでグランプリを受賞。ZIP-FMでラジオDJとして活躍中。

小林さん 生まれ育った土地というのもあるかもしれないけど、僕も居心地の良さを感じます。あと、豊川にはおいしいお店が多くある。そういうお店を市外の人にも発見してもらえたらいですね。豊川の魅力を知った僕からすると、もう一度にしていただとも思います。外から見た豊川の魅力を伝えていきたいです。

渡辺さん イベントで定期的に人が来るようになりましたが、留学先のアメリカで豊川とありました。

小林さん そうですね。来たことのない人はぜひ一度、豊川に来てください。

渡辺さん 僕もまた、豊川をぶらっと散歩したいなと思っていますので、もし見かけたら、ぜひ声をかけてください。コバタクさん、本日はありがとうございました。

小林さん こちらこそ、ありがとうございました。

豊川市制施行80周年スペシャルトーク

市制施行80周年を記念して、とよかわ広報大使の俳優・渡辺いっけいさんと、ラジオDJ・小林拓一郎さんが、豊川市への思いを語ってくれました。



渡辺いっけいさん

豊川での思い出

小林さん 実は僕、いっけいさんの高校の後輩なんです。美術室に行くと、いつもいっけいさんが描いた油絵が飾られていました。

渡辺さん 昔は漫画家を目指していたんです。でもある時、絵が得意なクラスメイト

2人の才能を前に「負けた」と思つたんです。人を樂しませることがしたいという思いはあったので、役者を目指すことに決めました。

小林さん ということは、その2人に出会うことなくそのまま漫画家を目指していた、「俳優・渡辺いっけい」は存在していないかったんですね。

渡辺さん その通りです。役者の原点は、豊川で過ごした高校時代にあります。コバタクさんはバスケットボール部に所属していました。

小林さん そうですね。「将来、海外でバスケットボールがしたい!」という夢を描いていた時期でしたね。大会で結果を残すことではできなかつたのですが、バスケットボールへの思いだけは誰にも負けなかつた。海外で自分の可能性を見てみたいといふ気持ちがあり、高校時代の先生が背中を押してくれました。いっけいさんは豊川という土地で役者を目指すために、何かされていたんですね。

小林さん 絵を描くのが好きだったので、オリジナルストーリーの紙芝居を作つて保育園を巡りました。自分が表現したことへの反応が欲しかつた。子どもたちの反応は素直なので、勉強になりました。

豊川への思いや魅力

小林さん 豊川は僕たちの後ろにも飾られている、バラがすごく有名なんですよね。豊川に居たときは知りませんでした。豊川を離れてから知ることつて多いなあと感じます。

渡辺さん 僕も豊川がバラの生産量日本1位ということ、最近知りました。あと、通つていた保育園の隣にイチヨウの木があつて、今、「大和の大いちょう」と呼ばれてとても有名になつていて。改めて訪れるたびに、豊川稻荷や砥鹿神社もいいところだなあと感じます。



Profile

渡辺いっけい

大和小学校、一宮中学校、国府高校を卒業。数々の舞台・テレビ・映画に出演。豊川市を中心撮影を行つた主演映画「マリッジカウンセラー」が2023年1月より全国公開。

とよかわの あゆみ

History of
TOYOKAWA

昭和18(1943)年	● 豊川町・牛久保町・国府町・八幡村の3町1村が合併し、6月1日に市制施行①
昭和19(1944)年	● 御油のマツ並木が国の天然記念物に指定される
昭和20(1945)年	● 三河地震で大きな被害
昭和21(1946)年	● 豊川海軍工廠が8月7日に被爆②
昭和22(1947)年	● 市民病院を開院
昭和23(1948)年	● 国道1号が開通
昭和24(1949)年	● 初の公選市長・市議会議員選挙
昭和25(1950)年	● 警察予備隊(現自衛隊)が豊川市に配備される
昭和26(1951)年	● 八名郡三上村を編入
昭和27(1952)年	● 消防署を設置
昭和28(1953)年	● 市教育委員会が発足
昭和29(1954)年	● 豊川稻荷大開帳
昭和30(1955)年	● 豊川放水路が完成
昭和31(1956)年	● 地方財政再建促進特別措置法の適用を議決
昭和32(1957)年	● 伊勢湾台風で大きな被害
昭和33(1958)年	● 海軍工廠跡地に工場進出が始まる
昭和34(1959)年	● 国道1号の市内全線舗装が完成
昭和35(1960)年	● 宝飯郡御油町を編入
昭和36(1961)年	● 市内の各地域で大規模な町名変更を実施
昭和37(1962)年	● 旧し尿処理場が完成
昭和38(1963)年	● 旧体育館が完成
昭和39(1964)年	● 豊川宝飯衛生組合の旧斎場会館が完成
昭和40(1965)年	● 平和の像が建立
昭和41(1966)年	● 豊川放水路が完成
昭和42(1967)年	● 姫街道の市内全線舗装が完成
昭和43(1968)年	● 豊川(とよがわ)のかすみ堤を閉め切る
昭和44(1969)年	● 青少年を守る都市を宣言
昭和45(1970)年	● 陸上競技場を開設
昭和46(1971)年	● 豊川市宝飯衛生組合の清掃工場が完成
昭和47(1972)年	● 保健センター(休日夜間急病診療所を併設)を設置
昭和48(1973)年	● 公共下水道事業に着手(諏訪地区34.2ha)
昭和49(1974)年	● 旧図書館が開館
昭和50(1975)年	● 国道151号バイパスが完成
昭和51(1976)年	● 国府高校が夏の甲子園に出場
昭和52(1977)年	● 野外教育センターが完成
昭和53(1978)年	● 市の人口が10万人を突破④
昭和54(1979)年	● 第1回トヨカワシティマラソンを開催
昭和55(1980)年	● 新当古橋が完成
昭和56(1981)年	● 穂ノ原工業団地が完成
昭和57(1982)年	● 建設労働者福祉センター(サン・シティ豊川)が完成
昭和58(1983)年	● 市民病院の大規模整備事業が完了
昭和59(1984)年	● 地域文化広場が完成
昭和60(1985)年	● 市役所北庁舎が完成
昭和61(1986)年	● 穂ノ原工業団地が完成
昭和62(1987)年	● 豊川市国際交流協会が発足
昭和63(1988)年	● 東名高速道路・豊川インターチェンジが開通③
昭和64(1989)年	● 豊川用水が通水
昭和65(1990)年	● 青少年センターが完成
昭和66(1991)年	● 旧学校給食センターが完成
昭和67(1992)年	● 市プールが全面完成
昭和68(1993)年	● 豊川まつり・豊川手筒まつりが始まる
平成1(1991)年	● 市街地の公園として諏訪公園が完成
平成2(1990)年	● 総合体育館が完成
平成3(1991)年	● 市街地の公園として諏訪公園が完成
平成4(1992)年	● 豊川宝飯衛生組合の清掃工場の増改築が完了
平成5(1993)年	● ぎよぎょランドが完成(平成5年)⑥
平成6(1994)年	● 市制施行50周年記念式典を開催
平成7(1995)年	● 健康福祉推進都市を宣言
平成8(1996)年	● 赤塚山公園のぎよぎょランドが完成⑥



⑥ ぎよぎょランドが完成(平成5年)



⑤ キュパティーノ市からシンボルタワーが届く(昭和63年)



④ 人口が10万人を突破(昭和52年)



③ 東名高速道路・豊川インターチェンジが開通(昭和44年)



② 豊川海軍工廠が被爆(昭和20年)



① 豊川市の誕生を知らせる報道(昭和18年)

平成6(1994)年	● 地域文化広場・桜ヶ丘ミュージアムが開館
平成7(1995)年	● 第49回国体で銃剣道と軟式野球競技を開催
平成8(1996)年	● 赤塚山公園のアニアニまるがあるが完成
平成9(1997)年	● 平和都市を宣言
平成10(1998)年	● ゆうあいの里に養護老人ホームが完成
平成11(1999)年	● 穂ノ原第二工業団地が完成
平成12(2000)年	● ゆうあいの里にふれあいセンターが完成
平成13(2001)年	● 豊川駅東西自由通路が完成
平成14(2002)年	● 名鉄豊川線八幡駅が高架に切り替え
平成15(2003)年	● 豊川市水道事業50周年記念式典を開催
平成16(2004)年	● ゆうあいの里に知的障害者入所更生施設が完成
平成17(2005)年	● 豊川市・音羽町・一宮町・小坂井町・御津町合併協議会を廃止
平成18(2006)年	● 豊川市・音羽町・一宮町と合併
平成19(2007)年	● 新斎場会館(永遠の森)が完成
平成20(2008)年	● 豊川市水道事業50周年記念式典を開催
平成21(2009)年	● 姉妹都市提携20周年記念「キュバティーノ展」を開催
平成22(2010)年	● ゆうあいの里に心身障害者小規模授産所・心身障害児通園施設が完成
平成23(2011)年	● 豊川市・小坂井町合併協定調印式を開催
平成24(2012)年	● 豊川市コミニユーティバスが運行を開始
平成25(2013)年	● 豊川高校駅伝部男子・水泳部男子が全国大会で初優勝⑧
平成26(2014)年	● 市制施行70周年記念式典を開催
平成27(2015)年	● B-1グランプリin豊川を開催⑩
平成28(2016)年	● 消防署南分署が完成
平成29(2017)年	● 豊川市・小坂井町合併協定調印式を開催
令和元(2019)年	● 東三河初の人工芝公営グラウンド・市民のスクエアがリニューアルオープン
令和2(2020)年	● 豊川市防災センターが完成(令和元年)
令和3(2021)年	● 豊川市防災センターが完成(令和2年)
令和4(2022)年	● 豊川公園「二ども広場」がオープン
令和5(2023)年	● 茶室「心々庵」がリニューアルオープン



12 豊川市防災センターが完成(令和元年)



11 豊川海軍工廠平和公園が開園(平成30年)



10 B-1グランプリin豊川を開催(平成25年)



9 新市民病院が完成(平成25年)



8 豊川高校駅伝部女子が全国大会で初優勝(平成20年)



7 三河国分尼寺跡史跡公園が完成(平成17年)

人口・学校・図書館

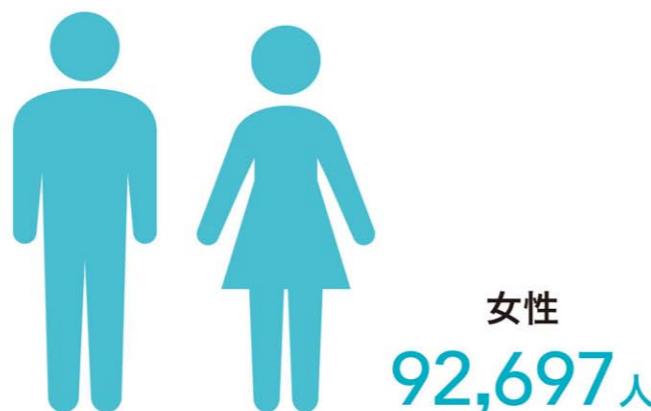
▶総人口

(令和2年国勢調査)

184,661人

男性

91,964人



女性

92,697人

▶学校数



小学校 26校
中学校 10校
高等学校 ... 8校

▶図書館蔵書数(一般書・児童書・視聴覚資料)

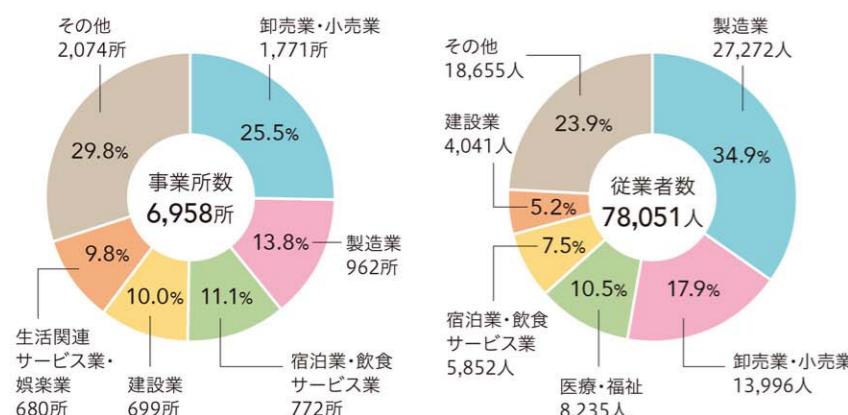


785,100冊

産業

▶事業所数・従業者数の構成比

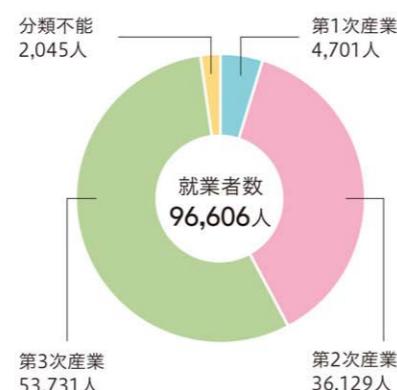
(平成28年6月1日現在／平成28年経済センサー活動調査)



※数値は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。

▶産業別就業人口

(令和2年国勢調査)



市の大きさ・位置・アクセス

▶市の大きさ・位置

面積

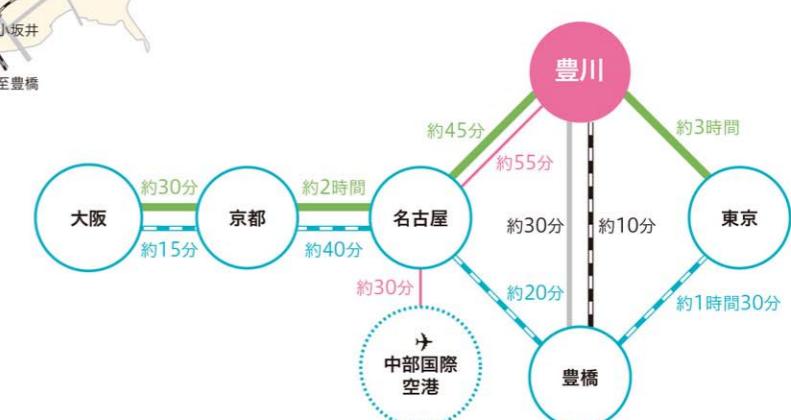
161.14 km²

▶市役所の位置

所在／豊川市諏訪1丁目1番地
東経／137度22分33秒
北緯／34度49分37秒

▶アクセス

- JR東海道新幹線
- JR飯田線
- 名古屋鉄道
- 高速道路
- 一般道路



◆市歌

作詞：原田士郎／補作：勝承夫／作曲・編曲：清水保雄

一	二	三
誇りあり この歴史	光あり この文化	力あり この郷土
穂の国の 由緒をつぎて	豊川の ながれに映えて	人の和も こだまとかよい
夢みのる 躍進の町	進みゆく 産業の町	ゆたかなる 友情の町
本宮の 峰を仰ぎて	開運の 稲荷とともに	高速路 息吹もたかく
こぞり立ち のびゆくわれら	栄えつぎ 幸あるわれら	はつらつと 明日よぶわれら
豊川市 のびゆくわれら	豊川市 幸あるわれら	豊川市 明日よぶわれら

◆市民憲章

わたしたちは、豊川市民であることに誇りと責任をもち、互いに手を携えて、豊川市の未来像、『光・緑・人 輝くとよかわ』の実現をめざしてこの憲章を定めます。

- きよらかな山河、輝く海、自然を守り住みよいまちに
- 歴史に学び、明日を創る、文化の香りあふれるまちに
- 健康ではたらくことに夢をもち、力を合わせて豊かなまちに
- よい子、よい友、よい家庭、次代へつなぐ共生のまちに
- 心を合わせてきまりを守り、安全で安心できる希望のまちに

◆市の木



◆市の花



◆市章



周囲にカタカナの「ト」を4つならべ、中心に豊川の「川」をデザインしています

とよかわ
イラスト
マップ





豊川市勢要覧

発行：豊川市
〒442-8601 愛知県豊川市諏訪1丁目1番地
TEL: 0533-89-2111
企画：企画部秘書課 発行日：令和5年6月